

奥出雲町誕生から10年



カルチャープラザ仁多で記念式典

奥出雲町が平成17年3月31日に誕生し、今年で10年の節目の年となるのを記念して、5月23日にカルチャープラザ仁多で合併10周年記念式典が開かれました。溝口善兵衛島根県知事、糸原徳康県議会議長、近隣の首長ら町内外から約400人が出席しました。

式の中で勝田町長は「奥出雲町が誕生してからの10年を振り返り、これからの町の歩むべき姿を町民の皆様とともに描き、そして行動していきたい」と式辞を述べました。

また、来賓の溝口知事からは「奥出雲町には仁多米のブランド化など、先進的な取り組みがたくさんある。今後も、たたら製鉄の日本遺産認定を目指すなど、観光や地域ブランド振興のため皆さんと協力して進めたい」と祝辞が述べられました。

式典の終わりには、出席者全員で奥出雲町歌を斉唱し、町のさらなる発展を誓いました。



名誉町民・特別功労者を表彰

式の中では、新町となってからは4人目となる奥出雲町名誉町民の称号が、元町議会議長の千原祥道さんに贈られました。千原さんは、旧仁多町議会議員を8期務められ、合併後の初代議会議長として、現在の奥出雲町の礎を築かれました。

また、奥出雲町発足後、各分野

で町の振興発展に尽力された個人と団体に、特別功労者として表彰状が贈られました。左表。

受賞者を代表して仁多乃炎太鼓の内田幹雄会長が「愛する奥出雲町のために、我々の活動が町民皆さんの力になればと思っています。今後も、町外での活動で奥出雲町の魅力を発信していきたい」とあいさつされました。

表彰された皆さんの、今後のさらなる活躍が期待されます。

錦織監督が記念講演

記念式典に続き、出雲市出身の映画監督、錦織良成さんによる「奥出雲は最先端」と題した記念講演がありました。

奥出雲町について、「安心安全、環境、食、伝統、歴史など、あらゆる物差しで測った時に、最先端だと思ふ。たたら製鉄など、古くからずっと守られているものが実は最先端で、アナログの強さ、職人の強さを感じる」と話され、自

身の映画監督としての経験から、フィルム撮影からデジタル化する日本映画界と、現代の日本を重ねあわせ、伝統文化の大切さを伝える内容でした。

また、現在町内で撮影に向けて準備が進められている映画「たたら待」について、「アナログが先端だと『たたら』から教えてもらった。映画を通じて島根県の発信と同時に、日本の発信を島根からしたい」と映画撮影に臨む思いを話されました。

今回名誉町民、特別功労者として表彰を受けた皆さんは次のとおりです。(順不同)

- 【名誉町民】**
千原祥道さん(初代奥出雲町議会議長)
旧仁多町議会を含め21年余議長を歴任。仁多郡二町法定合併協議会委員として仁多・横田両町の合併に尽力いただきました。合併後も、旧両町間の融和に全力で取り組み、地方自治の発展と住民福祉の向上に貢献されました。
- 【特別功労者】**
井上勝博さん(前奥出雲町長)
平成21年5月奥出雲町長に就任。定住・子育て支援、神話とたたら・伝統文化の振興、防災・災害対策など町民の福祉向上に尽力され町の発展に貢献をされました。
- 若槻一夫さん(若槻工業株式会社社長)
町への福祉寄附、奥出雲町初のふるさと納税、歌謡曲「忘れないで奥出雲」の制作など郷土を愛する思いから奥出雲町の発展にご貢献いただきました。
- 源大佑さん(関西奥出雲会会長)
前近畿仁多会会長として、仁多町出身者の親ほくを深められるとともに、ふるさととの交流に努められるなど、郷土を愛する思いから奥出雲町の発展にご貢献いただきました。
- 横田高校男子ホッケー部
度重なる全国制覇を成し遂げ、奥出雲町の名を全国にとどろかせ、町民に勇気と感動、夢と希望を与えてくれました。
- 奥出雲町商工会青年部
昭和59年以来サイクリングをとおり、奥出雲の観光情報の発信や交流人口の拡大など地域振興に貢献をいただきました。
- 奥出雲町消防団阿井分団
平成26年11月開催の第24回全国消防操法大会小型ポンプの部において準優勝盾を獲得。町民に夢と感動を与えていただきました。
- 仁多乃炎太鼓
平成4年結成。国内外で多くの演奏活動を行い、人々に多くの感動を与え、奥出雲町を代表する芸能として確立されました。



10町内外から関係者約400人が出席し、10周年を祝いました。